

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

風の海穏やかにして舟止まる

時間を待ちて出帆用意

●宮古市 太田屋滋

児童らがペコリとお辞儀サヨウナラ

元気もらえる午後のひととき

●戸田市 久米壽彦

夏空に少し猫背の御姿は

香華の絶えぬ露座が大仏

●朝霞市 林 則雄

コロナ禍で温泉気分は入浴剤

今日は草津へ明日は箱根か

●松戸市 秋元輝美

コンビニで「マスクを掛けて」注意され!!

「間隔あけろ」客に睨られ

●狛江市 根方一吉

曝書なか父の遺せし軍事便

文字は褪せれど我が家の昭和史

●長岡市 近藤 博

百近い母を弟と入浴さす

何年ぶりかと弟は言う

●笛吹市 植松正幸

注射打つ迷うところに世、人の為

自分の為とさりとと言う医師

●滋賀県多賀町 西基久子

俳 句

川風に涼が輝らめき鮎踊る

●鹿沼市 大貫秀雄

青簾母へ近づく針仕事

●小山市 原田利江

枝振りのよきで際立つ合歓の花

●本庄市 長谷川千鶴子

夕立に時をあずけてシヨッピング

●草加市 長谷部禎子

蕃茄熟るサドルに傘の干されけり

●戸田市 篠崎志津子

夏草に覆われしまま里の墓

●戸田市 清水久雄

かみなりの恫喝ほどは降らで去る

●立川市 浅見 眞

ブランコを押す母優しセピア色

●平塚市 田中博由

鮎釣りの竿に手応え奈良井川

●塩尻市 大家協治

深緑透明満たす御射鹿池

●塩尻市 奥原光夫

麦熟る風通る道たおれる穂

●塩尻市 小野正平

高原の風を踏みしめわらび狩り

●塩尻市 町田まさ子

二度咲きの木蓮侘し昼の月

●可児市 井戸和秋

母逝きて知る事多き夏の雲

●富士市 鈴木節子

翻る球児の校旗夏の雲

●富士市 鈴木正邦